

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほとほら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 Tel/fax 024-575-4355

3月の主な行事

- 3月 5日(金) 誕生会
- 8日(月) 工賃支給日
- 11日(木) 法人本年第1回理事会
- 31日(水) 年度末期末手当支給日

3月誕生日 おめでとうございます

佐藤静香さん(3月16日) 畠海就さん(3月21日)
松浦広貴さん(3月28日)
誕生日おめでとうございます。
誕生会は3月5日に行います。お楽しみに!

春待ち遠し鬼退治!



鬼めがけて豆をぶつける利用者代表

2月2日、124年ぶりにこの日が節分、ほとほら授産所利用者さんの節分の集いを行いました。例年ですと利用者さんの間に鬼が入ってきたりしますが、今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、窓際から代表数名が鬼退治を行い、施設の中で密にならないように工夫して行いました。

当日は午前の作業を早めに切り上げ、食堂に集まって中木所長から節分のお話を聞いた後、利用者代表が食堂の外出入り口から鬼めがけて豆をぶつけ鬼を退治しました。



節分の由来をお話する中木所長

豆まきを終えた後は、お昼の給食の時間に合わせてすし竹さんから頂いたお寿司の会食タイムです。密にならないよう利用者さんたちは無言で食べました。

今年も節分に合わせてお寿司をいただくことができ、利用者さんたちは大変喜んでいました。さて、この日の鬼役はいったい誰だったのでしょうか？未だに謎です。



豆まき代表の皆さん



鬼が来るのを待っている利用者さんたち



鬼乱入！



美味しそうにお寿司をいただく利用者さんたち
(写真上、下)



お持ち帰り専門
すし竹 様からお寿司寄贈



鈴木店長様からお寿司を受け取る両施設利用者代表

2月2日の節分の集いに合わせて、今年もお寿司のテイクアウトで有名なすし竹様から節分の生寿司のご寄付をいただきました。

当日はだての郷ロビーで贈呈式が行われ、ほどはら授産所から利用者代表の武田忠さんと大橋治子さん、だての郷から利用者代表の渡辺祥江さんと大槻美里さんが出席し、赤橋店店長の鈴木敦さんからお寿司をいただきました。式の中で中木所長から御礼のことばを申し上げました。毎年ご寄付いただいております、この紙面を借り、すし竹様に厚く御礼を申し上げます。

ほどはら授産所 授産品 トイレットペーパー 販売中

シングル・150mの芯なしトイレットペーパー

価格1ケ92円 (消費税込)



厚紙の芯の代わりに空洞があり、ほとんどのペーパーホルダーに設置可能です。

交換回数を減らせます。

ぜひお試しください。

ご自宅・事業所まで配達もいたします。

100個以上お買い上げの場合、1個当り87円(税込み)で頒布いたします。ご注文は、電話、FAX、または郵便でどうぞ。1週間以内にお届けいたします。

ご注文、お求めは、

障がい者就労継続支援B型事業所 **ほどはら授産所** へ
(伊達市保原町字中瀬町100番地 TEL / FAX 024(575)4355)

ほどはら授産所作業班 この1年 2020.4-21.3

令和2年度作業班の活動を報告します。
皆さん、お疲れ様でした。



段ボール班

本年度も一年間お疲れ様でした。今年はコロナに始まりコロナに終わる一年でした。

利用者みなさんも真夏のマスクの着用・うがい・手洗いの励行などで我慢をしいられたかもしれません。

みなさんの協力があったからこそ、この一年間一人の体調不良者もなく、一人一人が本当に気を付けて行動・生活していただいたおかげで、我慢の時期を乗り越えられたと思います。この間サポートしていただいた保護者の皆様にもご協力に感謝いたします。

特に食品関係など衛生面で気を使うダンボール材料を扱うにあたり、例年にも増して注意深く取り組まなければなりませんでしたが、みなさんしっかりと期待に応えて慎重な作業を行ってくれました。また、関係企業の皆様におかれましては、このコロナ不況の中、仕事が激減しているにも関わらず、優先して授産作業へのご理解とご協力を賜りましたこと、この紙面を借りて改めて御礼申し上げます。

まだまだ予断を許さない状況が続きそうですが、来年度も体調に注意を払い、新しい生活スタイルの下、慎重さの中にも楽しさを見出し、頑張っていたいただきたいと思います。一年間ありがとうございました。（担当：木村光永目標工賃達成指導員）

仕切組み作業をする段ボール班
利用者の皆さん

手工芸班

今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、タオルの作業がストップしてしまいました。そのため手工芸班の利用者さんは、他の作業場所の手伝いをしたり、刺し子やトイレットペーパーの包装作業を行ったり、名前の練習を行ったり絵を描いたり、通常では出来ない自分磨きの時間を得ることができたと感じております。

「今まで以上に名前が上手に書けるようになりました。」「刺し子が上手に出来ていてびっくりです」など、保護者の方からのご感想も聞かれました。

今回の新型コロナウイルスの影響を受け作業は滞ることもありましたが、そんな中でも皆さん前向きに自分磨きの時間を送って頂きました。

だからこそ、タオルの作業が入った時には、集中して丁寧な作業をすることもできました。

次年度は早くコロナが終息して過ごしやすい年になってほしいと思いますが、今年度培った能力も生かしていけたらいいと思います。

次年度は、今年度以上に意欲的に作業に取り組んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。（担当：管野富江職業指導員）



タオル封入作業をする手工芸班
利用者の皆さん

令和三年度もよろしくお願ひします！

リサイクル班

リサイクル班のメンバーのみなさん、一年間作業お疲れ様でした。

今年度リサイクル班は、主に古くなった電子、電気機器を分解する作業を行い、素材毎に分別し納品する作業を行ってきました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い作業量や作業内容が変わり新しい作業への取り組みで大変だったと思いますが、作業を進めながら慣れていき、的確に作業を進めてくれました。

また、介護用ベッドの汚れをきれいに磨き取る洗浄作業を行いました。汚れは色々な所にあり、狭い所や影の部分の汚れを丁寧に落とす大変な作業でした。ベッドを覗き込みながら汚れを見付け丁寧に洗浄することが出来ていたと思います。

それぞれの作業で自分の力を発揮し、リサイクル班全員で協力して作業に取り組めたことが良かったと思います。

来年度も班のみなさんで協力して作業を進めていって欲しいと思います。

早く新型コロナウイルス感染症が落ち着き、以前のような生活に戻り、お仕事や行事等楽しい日中活動となることを願います。

(担当：鈴木信行主任)



分解作業をするリサイクル班
利用者の皆さん

農耕園芸班

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、農耕園芸は大きな影響を受けました。

例年どおりに栽培を始めたところ、4月に緊急事態宣言が出され、様々な活動が自粛されました。解除後も、地域によって花苗植栽の活動を控えるところも多くあり、販売に苦労した前半でした。恒例の「ほどはら花市」「あぶくま祭」を中止せざるを得ない状況の中代替行事として、6月と10月に「花市ウィーク」を設け、花苗や手工芸品の販売を行いました。来場者の混雑緩和のため、行事の期間を1週間ほど設けて、マスクの着用や手指の消毒の協力をお願いするなどの対策をして、感染者を出すこともなく無事に終了しました。

寒暑風雨に加えて、感染症や災害にもかかわらず辛抱強く、働いていただいた利用者の皆さん、ありがとうございました。一日も早く、落ち着いた生活ができることを望み、令和3年度も、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

(担当：佐藤典昭管理者)



花苗をハウスに移動をする農耕園芸
班利用者のみなさん



春の楽しみ



株式会社メフォス福島第一事業部
福島支店第2課係長 佐藤 久美

冬が終わり、徐々に陽射しが温かく感じられる季節になりました。

今年度はコロナの影響でいろいろな行事や活動が制限され、気付かないうちにストレスを抱えてしまっている方も多いのではないのでしょうか。

ストレスを解消する為に、まず自分は何にストレスを感じているのかを把握し、リラックスできる環境で生活することが重要です。

ストレス解消には《バランスの良い食事》《質の良い睡眠》《適度な運動》を心がけると良いでしょう。生活リズムを整え、自分に合った解消法を見つける事が大事です。

食事のポイントとしては旬の野菜や豚肉、卵、まるごと食べられる小魚や果物などを積極的に摂取する事が挙げられます。それにより、ストレスによって消費された栄養素を補う事が出来ます。

旬の野菜といえば、これから山菜の美味しい季節を迎えます。春の山菜には独特の苦みがありますが、この苦みが春を感じさせてくれるのです。実はこの苦みやえぐみが体にとってもよいとされています。山菜の苦みや辛味が冬の間動きが鈍くなった体に刺激を与えて、体を目覚めさせ、活動的にしてくれるといいます。この苦み成分は抗酸化作用のあるポリフェノールの一種で新陳代謝も促進してくれます。また、山菜にはビタミンも豊富なものが多く、冬の間葉物野菜不足を春にビタミン補給する役割もあったようです。山菜の香りや苦みが苦手な人も調理方法によっておいしく食べる事ができます。

- 油で揚げる/天ぷらにすると苦みがやわらぎ、香り高い山菜の風味が増します。
- 茹でる/さっと茹でて水気を絞り、切ってお浸しや和え物します。お好みの調味料で味付けし、それぞれの山菜の風味を味わう事ができます。アクの強い山菜は下茹でてアクを抜いてから、煮物や和え物に使用すると良いでしょう。

山菜採りやお花見と楽しい季節になってきました。コロナ対策をしっかりとってストレスをためないよう、元気に過ごしましょう。

3

 <p>ひな人形</p> <p>女の子を災いから守り、美しく成長して幸せな人生を送れますように、という願いが込められています。</p>	 <p>ちらし寿司</p> <p>山や海の恵みに感謝して自然の力を分けてもらい縁起のいい食材をたくさんいただきます。</p>	 <p>ひし餅</p> <p>ひし餅の色には願いを込めた意味があります。 ピンク…魔除け 白…清潔・純白 緑…健やかな成長</p>	 <p>ひなあられ</p> <p>厄災を代わりに引き受けてくれるひな人形を外に持ち出す時にもっていったお菓子で、ひし餅の代わりとも言われています。</p>
 <p>白酒(甘酒)</p> <p>胎内に悪い子が宿らないようにと、厄除け、そして厄払いの意味を込めて。白酒はアルコールが入っています！お子様は甘酒で。</p>	 <p>はまぐり(お吸い物)</p> <p>「相性のよい人と結ばれますように」との良縁の願いが込められています。</p>	 <p>桃</p> <p>病魔や厄災をよせつけない不老長寿の樹木で、魔除けのパワーがあります。</p>	 <p>桜もち</p> <p>関東風と関西風の2種類があり、ピンクと緑が春らしく女の子のお祝いにピッタリ。</p>



グループホームスクラムの1年を振り返って

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い外食体験会に出かけることや地域の行事等への参加がほとんどできなく、利用者の方々は不自由さを感じていたことと思います。また、新型コロナウイルスに感染しないよう日頃の手洗いや消毒、行動に気をつけることについても大変な面もあったと思います。このような新しい生活様式の中で、利用者さんたちには前進し良い変化も見られました。共同生活を通して自立心が高まり意欲的な行動が出てきた方、偏食が減り食べられる料理が増えた方、自ら体重に気をつけダイエットに成功した方、体調を崩すことなく1年元気に生活出来た方などの姿です。一方、集団生活で他人との関わり方や協調して生活することの難しさを感じることもあったと思います。

次年度へ向けて、共同生活では他人との関わり方を身につけ、ルールを守り協調して生活することが必要となります。ストレスを感じる面もあると思いますが、少しずつ経験を積み自立へ向けて頑張りたいと思います。（グループホームスクラム管理者 鈴木信行）

世話人さんの資質向上目的に職員研修実施！

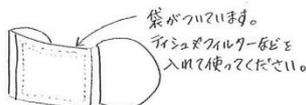
グループホームスクラムでは、今年1月26日にほどはら授産所で、グループホーム運営にかかわる職員（シルバー委託派遣職員含む）を対象に、利用者さんへの接遇のレベル向上を目指して研修会を行いました。

おふくろ

ほどはら 布マスク

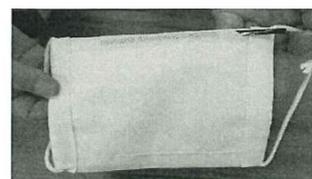
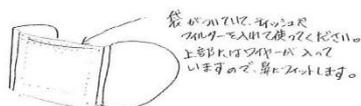
障がい者の皆さんの就労を支援するほどはら授産所では、洗って使えて、さらにマスク効果を上げる工夫を施したマスクを販売しています。ぜひお試しください。

ベーシックタイプ（220円 税込み）



マスク本体部分に袋があり、そこにエアコンのフィルターやガーゼを入れて使うことができ、マスク効果をアップさせることができます。

プレミアムタイプ（250円 税込み）



ベーシックタイプに、鼻の上部にワイヤーがはいています。マスクが補強され、ファッションナブルになります。

ご注文・お問い合わせ先

ほどはら授産所(伊達市保原町字中瀬町 100 575-4355)

本年度あぶくま福祉会 苦情解決委員会開く



開会にあたりあいさつする吉田理事長

2月18日、本年度当法人苦情解決委員会をほどはら授産所食堂休憩室で行いました。この委員会は施設運営における苦情の処理対応と事故報告を行う会議です。当日は、委員の岡崎サダさんと齋藤昭夫さんにご出席いただきました。

今年度の苦情報告はなく、施設側から4件の事故報告を行いました。利用者さん、支援員の怪我があったことによるもので、今後気をつけて支援していくことを委員の方にお伝えしました。

本年度通勤バス運行委員会を開く



次年度の説明を聞く委員の皆様

2月15日、次年度の通勤バスの一部個別送迎実施に向けて委員の皆様の意見を聞くため、通勤バス運行委員会（会長池田光雄さん）を開きました。

会議では、各施設の保護者様からの意向を聞いたアンケート結果が発表され、ほどはら授産所は現状維持の方が多く、だての郷は個別送迎を希望する方が多いとの報告がありました。施設からは来年度のなるべく早い時期に一部個別送迎を開始予定であることを説明、委員の皆様にご意見を求めました。その結果、多くの委員から個別送迎の受け入れについて、前向きな方向が示されました。

編集後記 令和2年度の年度末を迎えました。振り返ると今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、事業計画が大幅に縮小、行事が中止や変更になり、利用者さんにとって我慢の年となりました。よく頑張ったと思います。▼東日本大震災から10年を目前にして2月13日夜の震度6強（国見町）、6弱（伊達市、福島市、桑折町）の大きな揺れが襲い、10年前を思い出しその日は眠れぬ夜を過ごされた方も多かったことと思います。翌日、利用者・保護者の皆様の安否確認をされていて、幸い皆様にはお怪我がなく安心したところです。今回の地震はあの震災の余震で、ニュースではあと10年余震が続くとの専門家の見解があるそうです。引き続き気をつけていきたいと思います。▼節分の集いに際し、すし竹様からお寿司いただきました。毎年利用者さんたちは楽しみにしており、今年も美味しくいただきました。改めてすし竹様に御礼を申し上げます。▼現在、新年度に向け事業計画案と予算案の編成が大詰めに来ています。来年度は良い年にしたいという思いを込め作業を進めています。今月開く理事会、評議員会で議決を受け、来月号で皆様にご概要をお伝えしたいと思います。▼結びに、令和2年度ほどはら授産所ほどはら通信を1年間ご愛読いただきありがとうございました。新年度もよろしくお祈りします。